令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅲ	学年	第3学年	類型	Ⅱ型選択
単位数	5単位	教科書	新編 数学Ⅲ（数研出版）				
補助教材	ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B（数研出版）						

学習目標	複素数平面，式と曲線，関数，極限，微分法，微分法の応用及び積分法とその応用について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てるようにします。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1章 複素数平面	複素数平面の基本的な概念について理解し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにします。 式と曲線について深く学び，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにします。 関数について深く学び，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにします。	中間考査
	5月	第2章 式と曲線		
	6月	第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標		
	7月	第3章 関数		
2 学期	8月	第4章 極限	極限の基本的な概念について理解し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにします。 微分法について深く学び，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにします。 微分法で学んだことを更に活用し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにします。	中間考査
	9月	第1節 数列の極限 第2節 関数の極限		
	10月	第5章 微分法		
	11月	第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数		
	12月	第6章 微分法の応用		
		第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用		
3 学期	1月	第7章 積分法とその応用	微分法について深く学び，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにします。	学年末考査
	2月	第1節 不定積分 第2節 定積分		
	3月	第3節 積分法の応用		

学習の方法	日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。単に公式を覚えて解くものではありません。なぜこのような解法になるのか、自分の力で説明できるかなど、数学的な考え方を身に付けることが大切です。日常生活の中で起こる数学的な考え方に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	---

評価の観点	① 関心・意欲・態度	② 数学的な見方や考え方	③ 数学的な技能	④ 知識・理解	⑤
		数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行います。平常点は、提出物（課題、ノート等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価します。				